

平成18年度第3回インターネット都政モニターアンケート結果

東京におけるペットの飼育

今回の調査は、インターネット都政モニターを対象に“ペットの飼育状況”や“飼い主のいない猫対策”、“都への要望”などについて聴き、「東京都動物愛護管理推進計画」策定の参考とするものです。

【調査結果のポイント】

ペットの飼育状況 「現在飼っている」24% (本文P2～P4)

「過去に飼ったことがある」31% 「飼ったことがない」46%

ペットの種類(「現在飼っている」と「過去に飼ったことがある」) 犬48% 魚類40% 猫27%

ペット飼育の意向 飼いたいと「思う」43% 「思わない」40% (P5～P6)

飼いたいと「思う」割合は、年代が上昇するごとに低下している

ペットを巡るトラブル 「ある」83% 「ない」17% (P8)

具体的内容 第1位「糞尿の不始末や悪臭」63%

第2位「鳴き声がうるさい」45%

第3位「放し飼いのペットに恐怖を感じた」27%

「飼い主のいない猫」対策への参加意向 (P12～P13)

「今後参加したい」16% 「参加したくない」50% 「わからない」33%

「飼い主のいない猫」問題の解決策としては、

「飼い主が最後まで責任を持って飼う」81%

「行政が『飼い主のいない猫』の不妊・去勢手術などに補助」34%

ペット業者に望むこと 第1位「ペットの飼い方や感染症の防御方法等の説明」64% (P16)

第2位「危険な動物の販売やインターネット販売など安易な販売をしない」56%

都への要望 第1位「ペット業者の監視指導の強化」59% (P17)

第2位「動物の感染症予防対策」48%

第3位「犬の登録・狂犬病予防接種の徹底」47%

ペット対策に関する自由意見 (P18～20)

「ペットの飼い主の責任・心構え」198件、「行政への意見・要望」102件など439件の意見・要望等が寄せられた

インターネット都政モニターは、インターネットが使える20歳以上の都内在住者を対象に、性別、年代、地域等を考慮して毎年公募により500人を選任。

調査実施の概要

1 アンケートテーマ

「東京におけるペットの飼育」

2 アンケート目的

東京におけるペットの飼育について聴き、「東京都動物愛護管理推進計画」策定の参考とする

3 アンケート期間

平成 18 年 10 月 20 日（金）18:00 から平成 18 年 10 月 26 日（木）18:00 まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する

5 インターネット都政モニター数

500 人

（インターネット都政モニターは満 20 歳以上の都民を対象に年度ごとに公募）

6 回答者数

483 人

7 回答率

96.6%